

# 編集 後記

編集顧問 町田豊平

編集委員 郡 健二郎

小川秋實

秋元成太

村井 勝

藤岡知昭

大家基嗣

20 年間ありがとうございました。

今年 3 月に大学を退職するに伴い、『臨床泌尿器科』の編集委員も終えます。月 1 回の編集会議は、大学の仕事からはなれ、リフレッシュされる充実したものでした。

私が名古屋市立大学に赴任した翌年の 4 月、現在編集顧問である町田豊平先生の後任として編集委員に就任しました。小川秋實先生、秋元成太先生とご一緒する編集会議はつねに新鮮で、刺激的でした。両先生は、私の一回り以上も年配で、豊かな経験と見識、温かい人柄の持ち主です。仕事の話は愚妻に減多にしません、編集会議での感動を帰宅後、何度となく話したのを思い起こしています。

お 2 人の退職後は、村井 勝先生、藤岡知昭先生、大家基嗣先生とご一緒しました。先生方の話題は多彩で、魅力的でした。村井先生の繊細な気配り、藤岡先生の深みのある人生観、大家先生の優れた学術的知識と幅広い情報から学びました。このような『臨床泌尿器科』での貴重な経験が、私を育てていただいたと深く感謝いたしております。

私たち編集委員を支えてくださったのは、医学書院のスタッフの方々です。この 20 年間に 6 名の方々にお世話になりました。皆さんは、仕事柄当然とはいえ卓越した文才と、緻密な編集、そして謙虚な人間性で、さすが医学出版業界でトップの雑誌社と感心しました。

このように順調に仕事ができただけで、文字離れが叫ばれて久しく、医学雑誌の出版部数が激減する中、『臨床泌尿器科』がなんとか部数が維持できているのも、ひとえに貴重な論文を投稿していただいた先生方や、読者の先生方のお陰です。深く感謝しております。

この 20 年間に最も痛感していることは、投稿論文が減り、論文の体裁が稚拙になっていることです。この傾向はすべての医学雑誌にいえませんが、日本の医学界にとっては大きな問題です。臨床に忙しい、論文に価値を感じない、など理由は多いでしょう。でも、専門医や指導医の単位取得のためだともいわれますが、学会の演題数は増えています。

投稿論文が減っている原因の 1 つに、論文の書き方の基本がわかっていないのではと思うことがあります。論文作成に時間がかかるため、論文作成中に挫折するのではと思います。論文の書き方を指導する人がいないのかもしれませんが。時に論文を一度に数編投稿される先生がおられます。それらの投稿論文の中には内容に首を傾げることがありますが、論文の書き方に慣れているのがわかります。

今、学会や私たちが取り組むべきことは、「論文の書き方教室」だと思います。若い先生は、学会発表したら直ちに論文化する努力をすることです。最初の論文作成には時間がかかりますが、慣れてくるとスムーズになります。そこで得た経験を後輩に継承することです。大学病院はもちろん、一般病院の指導医が論文を書く基本を身につけることが、診療技能と同様に必須だと思います。

私は、いずれ余暇をみつければ「書き方教室」を継続的に開きたいと思いますが、それまで頭と体の健康を保ちます。これからも皆さんのご協力、『臨床泌尿器科』を愛される医学雑誌に育ててください。お願いいたします。

(郡 健二郎)

臨床泌尿器科 (第 68 巻 第 2 号) (通巻 809 号)

2014 年 2 月 1 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価: 本体 2,800 円 + 税

2014 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担)  
冊子版 42,730 円 冊子 + 電子版/個人 47,730 円  
電子版/個人 42,730 円 冊子 + 電子版/共有 54,100 円  
電子版/共有 49,100 円  
※上記は 2014 年 3 月末までにご注文いただいた場合の年間購読料です (2014 年 3 月ご購入開始分まで適用)。

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

(担当: 登・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷刷 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複製, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** < (株)出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。